

読響

Yomiuri Nippon
Symphony
55th
Orchestra
55th Anniversary

愛、憧れ。

ドイツ・ロマン派名曲選

欧米で注目を浴びる新鋭
ボストン響、フランス国立管などを指揮

指揮

謙=デイヴィッド・マズア

Conductor: Ken-David Masur

世界の一流楽団と共演する名手
艶やかなストラディヴァリウスの音色で世界を魅了!

ヴァイオリン

アラベラ・美歩・

シュタインバッハー

Violin: Arabella Steinbacher

ウェーバー: 歌劇「オイリアンテ」序曲

Weber: "Euryanthe" Overture

メンデルスゾーン: ヴァイオリン協奏曲 ホ短調 作品64

Mendelssohn: Violin Concerto in E minor, op. 64

シューマン: 交響曲 第3番 変ホ長調 作品97 「ライン」

Schumann: Symphony No. 3 in E flat major, op. 97 "Rheinische"

©読響

©Peter Rigaud

2018年 3月10日(土) 14時開演 東京芸術劇場 コンサートホール
Saturday, 10th March 2018 14:00 / Tokyo Metropolitan Theatre / Saturday Matinée Series No. 205
S¥7,500 A¥5,500 B¥4,500 C¥4,000

2018年 3月11日(日) 14時開演 東京芸術劇場 コンサートホール
Sunday, 11th March 2018 14:00 / Tokyo Metropolitan Theatre / Sunday Matinée Series No. 205
S¥7,500 A¥5,500 B¥4,500 C¥4,000

お申し込み・お問い合わせ 読響チケットセンター 0570-00-4390 (10時~18時・年中無休) <http://yomikyo.or.jp/>

主催: 読売新聞社、日本テレビ放送網、読売テレビ、読売日本交響楽団 助成: 文化庁文化芸術振興費補助金(舞台芸術創造活動活性化事業) 事業提携: 東京芸術劇場

二人のフレッシュな才能が競演

ドイツ・ロマン派 名曲選

謙=デイヴィッド・マズア (指揮)
Ken-David Masur, Conductor

欧米で注目を浴びる期待の新鋭。1977年ライブツィヒ生まれ。ライブツィヒ音楽院とベルリンのハンス・アイスラー音楽大学で学び、父クルト・マズアに指揮を師事した。ニューヨークに渡り、コロンビア大学のバッハ協会管弦楽団・合唱団の音楽監督を務めた。2004年～06年にフランス国立管のアソシエイト・コンダクターを務めたほか、現在はミュンヘン響の首席客演指揮者など歴任。14年からボストン響のアソシエイト・コンダクターを務め、タングルウッド音楽祭などで活躍している。これまでにドレスデン・フィル、イスラエル・フィル、ロサンゼルス・フィル、トゥールーズ国立管、ロシア・ナショナル・フィルなどに客演している。読響とは2015年8月〈三大交響曲〉で初共演し成功を収め、今回が2度目の共演となる。

2015年8月に読響に初登場して好評を博した謙=デイヴィッド・マズアが、約2年半ぶりに登場する。現在ボストン響のアソシエイト・コンダクターとミュンヘン響の首席客演指揮者を務め、欧米で注目を浴びている新鋭で、読響の名誉指揮者を務めていたドイツの巨匠クルト・マズア(1927-2015)を父に持つ本格派だ。今回は、父親ゆずりのドイツ・ロマン派音楽を振って、その手腕を存分に発揮する。

メインは、シューマンの交響曲第3番「ライン」。シューマンが“父なるライン河”に想いをこめて作曲した傑作で、親しみやすい旋律が明るく生き生きとした雰囲気をかもし出す。第4楽章の壮麗なフーガはライン河のほとりにそびえるケルンの大聖堂を想わせ、第5楽章では高揚した興奮が絶頂を迎えてフィナーレとなる。類まれな知性と感性を併せ持つK=D.マズアのタクトが、シューマン特有の“歌”にあふれたメロディを温かく響かせるだろう。

前半は、ウェーバーの歌劇「オイリアンテ」序曲でドラマティックに幕開けし、華やかでエネルギーに満ちた旋律が力強く奏でられる。

2曲目は、ヴァイオリン作品の中でも屈指の人気を持つメンデルスゾーンのヴァイオリン協奏曲。憂いを帯びたメロディにはじまり、ヴァイオリンの技巧的なパッセージなど聴きどころが多いロマン派を代表する傑作だ。ソリストは、世界の一流オーケストラと共演を重ねているアラベラ・美歩・シュタインバッハー。ドイツ人の父と日本人の母という音楽一家に生まれた彼女は、ミュンヘンで学んだ後に才能を開花させ、マゼール、メータ、ゲルギエフら巨匠の指揮でバイエルン放送響、ニューヨーク・フィル、ウィーン響などと共演している実力者だ。みずみずしい感性で傑作を弾きこなし、1716年製の銘器ストラディヴァリウス「ブース」の艶やかな音色を披露する。フレッシュな二人のほとばしる才能を、たっぷりとお楽しみいただきたい。



アラベラ・美歩・シュタインバッハー
Arabella Steinbacher, Violin (ヴァイオリン)

世界の一流楽団と共演を重ね、国際舞台で活躍する第一線のヴァイオリニスト。2004年、パリで急病のチョン・キョンファの代役として、マリナー指揮フランス放送フィルと共演し、大成功を収めたのをきっかけに世界へと羽ばたいた。これまでに、マゼール、メータ、ドホナーニ、K.マズア、シャイー、プロムシュテット、ゲルギエフらの指揮で、バイエルン放送響、ライブツィヒ・ゲヴァントハウス管、ミュンヘン・フィル、ロンドン響、パリ管、シカゴ響、ウィーン響、シカゴ響、ニューヨーク・フィルなどと共演している。録音は、ベントーン・クラシックスと専属契約を結び数々のCDをリリースし、数多くの賞を受賞している。使用楽器は、日本音楽財団貸与のストラディヴァリウス「ブース」(1716年製)。

読売日本交響楽団 第205 回土曜マチネーシリーズ

2018年 **3月10日** (土) 14時開演
S ¥7,500 / A ¥5,500 / B ¥4,500 / C ¥4,000

読売日本交響楽団 第205回 日曜マチネーシリーズ

2018年 **3月11日** (日) 14時開演
S ¥7,500 / A ¥5,500 / B ¥4,500 / C ¥4,000

東京芸術劇場 コンサートホール

東京都豊島区西池袋1-8-1 Tel. 03-5391-2111

●JR・西武池袋線・東武東上線・東京メトロ「池袋」駅西口より徒歩2分(※駅地下通路2b出口と直結しています)

【観客注意】東京芸術劇場には一時託児施設があります(土・日・祝祭日を除く公演1週間前までに予約)。わらべうた 0120-415-306 (予約受付: 平日9時-17時)

【学生券】学生の方は、開演15分前に残席がある場合、¥2,000で入場できます(要学生証/25歳以下)。ただし席を選ぶことはできません。開演1時間前から受付で整理券を配布します。

【都合により曲目、出演者等が一部変更になる場合もございます。あらかじめご了承ください。】 ■未就学児童のご入場は、固くお断りいたします。

読響チケットセンター 0570-00-4390

読響チケットWEB <http://yomikyo.pia.jp/>

*10時-18時・年中無休

*座席選択してチケットをご購入いただけます(一部、携帯電話、スマートフォンなどを除く)。*郵送でチケットを受け取る場合、送料は無料です。

プレイガイド: チケットぴあ 0570-02-9999、東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296